



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況（2月1日現在）

- 宿泊利用者数 延べ 5,876 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 31 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,449 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 31 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/1	2	3	4	5	6	7
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	21	18	16	16	15	16	15
活 動 者	20	23	17	17	17	16	17
内 訳	個 人	20	23	17	17	17	16
	団 体	0	0	0	0	0	0

宮古小の児童から 写真ボランティアさんありがとう

- ◆ このほど、宮古市立宮古小学校 6 年生の児童 39 名から、写真洗浄を行うボランティアさんへ感謝のお便りがキャンプに届きました。宮古市役所からの依頼で、かわぼうさんが中心となって 10 月 31 日から 12 月 27 日まで同小学校の旧給食室で写真洗浄を続けてきました。見学に見えられた児童一人ひとりから、感想や思いをお便りで寄せていただきました。食堂で公開しています。
- ◆ その中から、及川博史さんのお便りを紹介します。



写真ボランティアのみなさんへ

ぼくは、みなさんのしごとを見て「たいへんだなあ」と思いました。
 がれきの中から写真をさがしたり、ていねいにあらってかわかしたりしたほかに、もちぬしをさがすそうですね。本とうにごくろうさます。写真のもちぬしの人は、とてもうれしいと思います。
 遠くから来ているそうですが、寒くなってきたので、かぜをひかないように気をつけてください。



宮古小での写真洗浄 (2011. 10. 31)

宮古高校生 写真洗浄でボランティア

2/15 から 6 日間で 240 人予定

- ◆ 2 月 15 日～17 日、20 日・21 日、23 日の 6 日間、岩手県立宮古高校一年生の生徒さんがクラス単位で 1 日約 40 名、合計で約 240 名がかわいキャンプ内の写真洗浄活動にボランティアとして参加する予定です。平成 22 年 3 月まで同校の川井校として存在したゆかりの場所で、地元の若い人たちが宮古市民の方々の思い出探しに支援することは意義のあることです。
- ◆ キャンプでは、ボランティアさんからの考えもお聴きしながら受入れ態勢を整えたいと思います。



リポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月4日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 5,935 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 3 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,512 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 3 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/4	5	6	7	8	9	10
曜 日	土	日	月	火	水	木	金
宿 泊 者	22	18	18	16	14	13	14
活 動 者	24	25	21	24	16	14	15
内 訳	個 人	24	25	21	24	16	14
	団 体	0	0	0	0	0	0

震災復興支援TV番組「希望発進！ いわて」にかわボラさん登場

- ◆ きのう3日夕方、地元のTV局が制作した震災復興番組が放映され、7月から滞在の江口敏治さん(福岡県)が写真洗浄と被災地の支援について、かわボラさんを代表してその思いのたけを語ってくれました。この番組は、毎週金曜日 18:55 から5分間、政府内閣府がスポンサーとして、復興に向けて歩む方々の活力あふれる声や取り組み、復興への歩みに役立つ情報をお届けしているものです。先月30日には、山田町で被災しキャンプの近くにオープンした、おなじみ「みついし」さんも取材を受けております。



2/3 岩手放送「希望発進！いわて」から

- ◆ 今回の収録は1月18日にキャンプ内で行われたもので、放映のこの日キャンプでも、盛岡の社会福祉協議会の事務局でもしっかりと確認(?)させていただきました。誠実な江口さんの人となりがよく表れている番組でした。

立春迎える かわいキャンプ

- ◆ きのう3日は節分。鬼を追い払い無病息災を祈ったことに由来する豆まきは、各家庭で行われます。かわいキャンプでも、ボランティアさんが「鬼は外、福は内」と災いを追い払い、幸せを迎えられるよう賑やかに豆まきを行ったとか。
- ◆ そして、きょう4日は暦の上では立春。今年の岩手は冷え込みが強烈で、きのうは宮古市でも最低気温氷点下9.4℃を記録するなど冬真ただ中の様相です。あと1カ月がまんすれば、山が芽吹く春は必ずやってきます。



2/2 のカワダルくん



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月6日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 5,993 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 5 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,582 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 5 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		2/6	7	8	9	10	11	12
曜 日		月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者		18	16	14	13	14	46	15
活 動 者		21	24	16	14	15	47	47
内 訳	個 人	21	24	16	14	15	17	17
	団 体	0	0	0	0	0	30	30

上川井の方々と賑やかに「カラオケ」交流

- ◆ 4日夜、キャンプの上川井集会所で川井地域づくり委員会主催の「カラオケを楽しむタベ」が開かれ、案内をいただいたキャンプからもボランティアさん、スタッフ9名が参加し、上川井地区の方々と賑やかに熱い交流が図られました。
- ◆ 橋本会長さんをはじめ地元のカラオケ自慢の方々に負けじと、キャンプのエンターナーも歌や飛び入りのダンスなどで大いに盛り上げました。かわボラさんは、地元の方々の計らいによってこのような楽しい時間をいただき、お陰さまでますますパワーアップすることができました。豪華景品も頂戴しありがとうございます。



熱唱する橋本会長さん (右端)



2/9~2/11 もりおか雪あかり

- ◆ 9日から11日までの3日間、もりおか雪あかり実行委員会（盛岡岡観光コンベンション協会）の主催による「もりおか雪あかり2012」が、盛岡城跡公園ともりおか歴史文化館をメイン会場に開かれます。今回は「復興祈願・灯そう未来に元気を！」をテーマとして、ミニかまくらの中でキャンドルを灯す「雪あかり（スノーキャンドル）」や雪像、氷の彫刻などのほか、沿岸被災地の子供たちが紙コップで作成した「メッセージキャンドル」や沿岸事業者の方々が特設テントで営業する「三陸復興屋台村」がイベントを飾ります。
- ◆ 「雪あかりボランティア」さんによる雪像づくりやスノーキャンドルの製作もきょう6日から始まりました。また、ボランティアさんは、キャンドルへの着火や安全誘導などの会場内スタッフも務めます。





レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月8日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,009 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 7 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,605 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 7 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/8	9	10	11	12	13	14
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	14	13	14	46	15	15	15
活 動 者	16	14	15	47	47	17	17
内 訳	個 人	16	14	15	17	17	17
	団 体	0	0	0	30	30	0

キャンプ利用者 6,000名を突破！！

- ◆ きのう7日、キャンプの宿泊利用者が開設以来 6,000 名を突破しました。217 日目の達成です。冬場に入っても、長期滞在やリピーターなどの個人ボランティアさんを中心に 12 月には620名、1月には434名のご利用をいただきました。
- ◆ キャンプを利用して活動された方も 12 月には 846 名、1 月には 537 名を数えるなど、開設以来 6,600 名に達しております。11 月以降日帰りで活動される岩手県内の方が増えてきていることが活動者の増加となっております。
- ◆ きのは、盛岡市玉山区の民生委員さん 4 名が、日帰りでキャンプで行う写真洗浄活動に参加しました（右写真）。



3. 11 盛岡で「復興への誓い 2万個の灯火」開催

- ◆ 東日本大震災1周年の3月11日（日）、震災によって犠牲になられた方々を追悼するとともに、被災地の早い復興を引き続き支援していくことを誓うため、盛岡広域市町村長懇談会（事務局 盛岡市復興推進部）の主催により、東日本大震災1周年祈念行事「復興への誓い 2万個の灯火」を開催。岩手県公会堂では追悼式典、作家・劇作家のロジャー・パルバースさんの講演会、また、もりおか歴史文化館前広場をメインに灯籠の点灯、県立不来方(にすかた)高校音楽部、松本哲也さん、清心(きよみ)さんが、来場の皆さんと共に合唱を行います。
- ◆ 灯籠は、牛乳パックを使用した宮古・田老式「夢あかり」を市民の皆さんに作っていただき、震災で亡くなられた方々や行方の分からない方々19,312名への鎮魂の意を込めて、約2万個を灯します。灯籠作製の詳細は、「いわてゆいっこ盛岡」のHPで。



リポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月10日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,035 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 9 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,635 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 9 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		2/10	11	12	13	14	15	16
曜 日		金	土	日	月	火	水	木
宿 泊 者		14	43	15	15	15	16	13
活 動 者		16	46	45	17	17	62	58
内 訳	個 人	15	17	17	17	17	19	16
	団 体	0	30	30	0	0	43	42

「もりおか雪あかり 2012」始まる

- ◆ きのう9日、盛岡城跡公園をメイン会場に「もりおか雪あかり 2012」が開幕。11日まで震災で犠牲となられた方々の鎮魂と復興を祈って約1万個の雪あかりが盛岡に灯ります。もりおか歴史文化館前では、沿岸4市町の児童のメッセージが入った紙コップのキャンドルが、世界文化遺産の平泉をイメージしたハスの花を形づくっています。また、教育会館前広場では宮沢賢治の銀河鉄道の夜をモチーフとした雪像が、市民ボランティアさんによって製作されています。
- ◆ 期間中、もりおか歴史文化館前の特設テントでは「三陸復興屋台村」が開かれ、山田町からは牡蠣餃子・牡蠣汁と三陸復興汁、大槌町からは特製復興ラーメンが販売されています。



猛威を振るうインフルエンザ 喉と鼻の乾燥予防を。

- ◆ 全国の患者数211万人。A香港型のインフルエンザが全国的に猛威を振るっています。ストレスは、免疫を低下させ抵抗力を弱めます。予防には、喉や鼻の線毛機能が低下しないようその乾燥を防ぐことが効果的です。手洗いやうがいの励行はいうまでもありません。
- ◆ ボランティアさんもスタッフも、キャンプにインフルエンザを持ち込まないよう、予防にはしっかりと取り組みましょう!! おかしいと思ったら川井診療所(☎0193-76-2015)へ。



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月11日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,049 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 10 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,651 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 10 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/11	12	13	14	15	16	17
曜 日	土	日	月	火	水	木	金
宿 泊 者	43	16	20	18	19	16	16
活 動 者	45	47	18	22	64	61	59
内 訳	個 人	15	17	18	22	21	17
	団 体	30	30	0	0	43	42

きょう 3.11 から 11 カ月

厳寒期ボランティア激減も かわいキャンプ健闘

- ◆ きょう 11 日で、東日本大震災の発生から 11 カ月。来月には丸 1 年を迎えますが、岩手県内では亡くなられた方は 4,669 名、未だ行方不明の方は 1,316 名に上っています。海保と県警では行方不明の方の捜索や身元確認を引き続き行うとのことです。
- ◆ 地元紙では、厳寒期を迎え岩手県沿岸被災地で活動するボランティア不足が深刻である旨報じています。岩手県全体で昨年 8 月のピーク時の約 1/9 に激減。釜石市、大船渡市のボランティアセンターでは週末だけ稼働し、宮古市の生活復興支援センターでは活動を制約せざるを得ない状況です。季節的な影響やガテン系活動の減少がその要因といわれています。
- ◆ かわいキャンプでは、1 月には宿泊されたボランティアさんは 434 名、活動されたボランティアさんは 537 名と、1 日当たり 16 名の宿泊を受け入れ、20 名が被災地やキャンプ内の活動に参加していただきました。冬季間の厳しい環境にもかかわらず、日帰りで参加された県内の方々を含めキャンプをご利用いただいたボランティアさんに心から感謝します。
- ◆ きょう、JILCA（日本いきいきライフ協力機構 代表 宮武直子さん）さん一行 30 名が昨年 12 月、先月に続きキャンプ 3 回目の入営をします。きょう、明日の両日、山田町仮設住宅でカフェ活動、小物づくり、マッサージ活動などを行います。キャンプの夜は、40 名を超えるボランティアさんで久し振りに賑やかになります。



47 名のボランティアさんが出席して開かれた朝のオリエンテーション



3 月の写真等の遺留品返却会を目指して作業中のかわボラさん(キャンプ内)



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月13日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,108 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 12 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,743 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 12 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/13	14	15	16	17	18	19
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	20	18	19	16	16	17	16
活 動 者	18	22	64	61	59	18	19
内 訳	個 人	18	22	21	19	17	18
	団 体	0	0	43	42	42	0

宮古市実田仮設住宅 大井さん

仮設住宅自治会づくりに奮闘！

- ◆ きのう 12 日付けの朝日新聞「いま伝えたい」に、宮古市実田の大井喜貴さんの自治会づくりへの思いが掲載されました。大井さんは、今回の震災で住家を失い、実田仮設住宅に住みながら今年 1 月末に退職されるまで、キャンプの運営スタッフとして働いていた方です。在職中から仮設住宅の自治会づくりに率先して取り組み、昨年 10 月には 31 世帯の住民に諮って自治会を立ち上げ、会長となりました。他の仮設住宅団地の発足にも協力しています。
- ◆ 自治会では、仮設住宅内の収納スペースの作り方、ゴミ出しルールの確認、住民同士の声の掛け合いなど身近なことから始めているとのこと。自分たちでお互いに助け合い、困ったときは声を上げるなど、自治会づくりを皆のやる気のきっかけにしたいと言っています。



実田仮設住宅自治会長の大井さん (38 歳)

宮古市の写真返却会決まる キャンプが運営

- ◆ 3 月 10 日 (土)・11 日 (日) の両日、宮古市民総合体育館 (シーアリーナ) 多目的ホールで、宮古市遺留品返却会 (仮称) が行われます。宮古市では 3 月 11 日同体育館で開催する東日本大震災一周年追悼式に併せて写真、アルバム、位牌、記念品などの遺留品を市民の方々に公開し、持ち主の方などへお返ししようとするものです。写真類は 2 万枚以上に上るとのことです。
- ◆ この返却会の会場設営、運営を、昨年 11 月以来一貫してこれら遺留品の洗浄作業に携わってきたかわいキャンプが行うこととなりました。残された未処理の写真、アルバムなどの洗浄・乾燥作業を急ぐとともに、他のチームの指導を仰いだり、この作業の中心となっていていただいているボランティアさんとも相談しながら、必要な人員の配置や段取りなどについて準備を進めています。



写真乾燥作業中のかわボラさん



会場となる宮古市民総合体育館 (シーアリーナ)



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月16日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,162 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 15 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,845 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 15 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/16	17	18	19	20	21	22
曜 日	木	金	土	日	月	火	水
宿 泊 者	19	18	18	17	16	15	15
活 動 者	63	63	21	20	63	60	13
内 訳	個 人	21	21	21	22	17	13
	団 体	42	42	0	41	43	0

県立宮古高校第1陣43名 CAMP IN 写真洗浄でボランティア

- ◆ きのう15日、県立宮古高校の写真洗浄ボランティア第1陣43名(生徒41名、引卒教諭2名)がキャンプに入りました。最初に、アルバムの解体、洗浄、乾燥、整理の一連の作業についてスタッフからオリエンテーションを受けた後、分担して作業を行いました。生徒たちは、きれいに1枚でも多く持ち主などへ返そうと、昼食をはさんで午前9時から午後3時まで熱心に取り組んでいただきました。TV、新聞のマスコミ各社も取材に訪れるなど、キャンプは開所日以来のにぎやかな一日となりました。
- ◆ 今後、16日、17日、20日、22日、23日の6日間、同高の1年生全クラス延べ約240名が来所し、作業を行います。整理を終えたアルバム、写真類は、これまでかわボラさんが作業を完了したものと合わせて、来月11日に宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で開かれる遺留品返却会で公開することとなります。



宮古の仮設住宅にお雛様のプレゼント

- ◆ このほど、盛岡市民の方から、かわいキャンプ協力団体のNPO法人アイディングさんを介して宮古の仮設住宅にお雛様のごプレゼントがありました。被災地の方々の気持ち少しでも和らいでほしいとの思いから、子供の頃にご自宅に飾ったお雛様をこのたび寄贈されたものです。
- ◆ キャンプでは、宮古市の生活復興支援センターと相談して、同市日の出町の宮古二中仮設住宅集会所に置くこととし、13日かわボラさん2名がお住まいの方々と一緒に飾り付けをしました。七段飾りの立派なものです。さらに広島県三原市の榊山屋さんからアイディングさんを通じて、18日と19日に御殿飾り、茶タンス風、親王飾り、七段飾りのお雛様の提供があり、河南、西ヶ丘、清寿荘、中里の4箇所の仮設住宅の集会所に贈ることとしております。



日の出町・宮古二中仮設住宅集会所の皆さんとかわボラさん (2/13)





レポートかわいいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月19日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,213 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 18 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,989 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 18 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

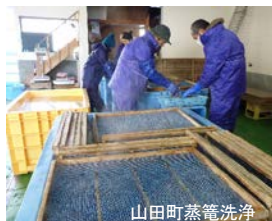
区 分	2/19	20	21	22	23	24	25
曜 日	日	月	火	水	木	金	土
宿 泊 者	16	13	14	17	17	17	29
活 動 者	21	60	58	14	59	19	19
内 訳	個 人	21	17	15	14	17	19
	団 体	0	43	43	0	42	0

最近のボランティア支援活動

- ◆ 冬期間に入り、ボランティアさんの活動内容も限定的にならざるを得ない状況ですが、かわいいキャンプでは、現在宮古市、山田町、大槌町の復興支援センターとニーズとのマッチングを行い、復興支援活動に参加しています。
- ◆ 宮古市では仮設住宅集会所・談話室で行われる傾聴、話し相手、足湯などのサロン活動、お茶会、音楽療法などのミニイベントの支援活動など、山田町では大沢漁港・大和水産の煮干し蒸籠の洗浄作業、大槌町では旧大槌中学校体育館で行う写真洗浄、整理作業などに参加しています。また、今月15日から6日間、県立宮古高校の生徒さん約240名がキャンプで行う写真洗浄、乾燥、整理作業に参加しております。



宮古市サロン活動



山田町蒸籠洗浄



大槌町写真洗浄



かわいいキャンプ写真洗浄

仮設住宅にお雛様のプレゼント 第2弾！

- ◆ 18日、19日の両日、広島県三原市の雛人形専門店の榊山屋さんから寄贈された雛人形一式を、宮古市の仮設住宅4カ所にお届けしました。同市磯鶏の河南仮設住宅、西ヶ丘一丁目の西ヶ丘仮設住宅、津軽石の清寿荘仮設住宅、中里団地の中里仮設住宅の集会所で、お住まいの方々とかわぼうさんが一緒になって雛壇の組み立てやお雛様の飾り付けを行いました。いずれも豪華でかわいらしいお雛様に、参加された皆さんの顔は終始にこやかでした。

河南仮設住宅に贈られた
「御殿飾り」西ヶ丘仮設住宅に贈られた
『茶ダンス風飾り』



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月23日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,271 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,140 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/23	24	25	26	27	28	29
曜 日	木	金	土	日	月	火	水
宿 泊 者	16	16	27	17	19	17	16
活 動 者	58	20	21	31	20	17	20
内 訳	個 人	16	20	21	31	20	17
	団 体	42	0	0	0	0	0

宮古高校の皆さん 支援ありがとう

- ◆ 15日、16日、17日、20日、21日、23日までの延べ6日間、岩手県立宮古高校の一年生全クラスの生徒さん255名（引卒の先生含む。）が、かわいキャンプの写真洗浄などのボランティア活動に参加していただきました。この間、キャンプでは毎日6～10名のかわボラさんが生徒さんの指導に当たりながら、自らの紹介や支援活動に賭ける思いを語るなど生徒さんとの交流が行われました。
- ◆ 被災された生徒さんもおられる中で丁寧に作業を続けていただき、お陰さまで6日間で2,452枚の写真の処理を終えることができました。来月11日にシーアリーナで開催される返却会では、宮高生の皆さんにもお手伝いをさせていただければと願っております。

指導に当たったスタッフ



活動終了後に宮高生を代表して挨拶 (3/23)

季節は雨水、寒さもめっきり和らぐ

- ◆ 19日は、暦の上では二十四節気のひとつ雨水(うすい)。暖かさに雪が雨に変わり氷も溶け始め、昔から農耕の準備を始める目安とされています。4日の立春も過ぎ、3月に入れば啓蟄(3/5)、春分(3/20)と、体感できる春の季節に向かって三陸の自然万物も力強く胎動を始めます。
- ◆ 実際、きょう23日キャンプでは、朝夕の冷え込みもめっきり和らぎ、朝方に降った雪も小雨ですぐ溶けて流れる日となりました。これから三寒四温を繰り返しながら、山も芽吹く季節に日一日と近づくこととなります。厳しい寒さが続いた今年の冬ただだけに、これからキャンプの周りで見つける小さな春の出来事に大きな愉しみを寄せています。



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (2月27日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,349 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 26 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,274 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 26 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	2/27	28	29	3/1	2	3	4
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	18	15	16	17	15	15	14
活 動 者	21	16	20	19	17	18	16
内 訳							
個 人	21	16	20	19	17	18	16
団 体	0	0	0	0	0	0	0

大槌町 3 月 写真返却展が始まります

- ◆ 大槌町の3月の写真返却展が、3月2日(金)から3月20日(火)までシーサイドタウンマスト（大槌町小鎧）で開かれます。これまでも、大槌町内で拾得された写真、アルバム等は、改装前のパーラー・ルート45、城山公民館で返却展を開催してきましたが、今回は、昨年12月22日に営業を再開した複合ショッピングモールシーサイドタウンマスト1階催事会場で、19日間公開されます。
- ◆ かわぼうさんは、昨年7月以来、NPO法人パレスチナ子どものキャンペーンさんの指導の下に大槌町総合運動公園の相撲場や旧大槌中体育館などで洗浄、整理等の作業を行うとともに、返却展では会場準備や受付の支援をするなど、大槌町の方々の思い出探しにお手伝いしてきました。持ち主の方やご家族の方々にできるだけ多くの写真やアルバムが戻られるよう願っています。



震災1周年特集「広報もりおか」にキャンプの紹介

- ◆ 3月1日号「広報もりおか」のに、かわいキャンプの活動が掲記事「被災地支援の動き」の中げられ、瓦礫撤去作業に汗する載っています。
- ◆ また、被災地支援に関わった4プからは古橋正義さん(栃木県産)として「ここで知り合った自分がやれることをさせていたています」と語っています。



特集「震災から1年 被災地と共に」載されます。1頁から7頁にわたるで、キャンプの活動の様子が取り上懐かしいボランティアさんの写真も

名の方々が紹介される中で、キャンプが、「かわいキャンプでの出会いが財仲間や被災地での出会いが私の財産。だいているという思いで日々活動し